

食と栄養のコミュニケーション [ボタラヴィ]

# *Bota la Vie*

Contents

Topics

がんの本質に迫る  
「最先端」の治療と予防

BOTALABO PRODUCT

抗酸化力のトリプル効果  
“カムカムC&ボタラボグリーン”

Bota la Vie Recipe

「目に良いレシピ」

5月号  
2024 May.



# がんの本質に迫る 最先端の治療と予防

去る4月7日(日)アントニオ・ヒメネス医学博士(通称:Dr. トニー)の講演が、東京・九段会館にて開催されました。世界をリードするドクターの貴重な講演に、日本各地から統合医療の医師をはじめとする医療関係者、健康の分野に携わる多くの人が詰めかけました。本誌では、講演内容の一部始終をダイジェストでお届けします。



## がんをまず「知る」

「がんは身体の総合的な病気で、肉体的だけでなく精神やマインドが影響している」

Dr. トニーの講演は、そんな一言でスタートしました。日々がんに関する新しい研究が進む一方で、治療しても再発してしまうケースや、ここ数年では若年者のホルモン関連のがん(乳がんや精巣がんなど)が増えています。年齢や国、地域などによっても発症しやすいがん種が異なるといった意味でも、Dr. トニーは「がんがどういうものか、その特徴を知ることが重要」とし「がんが増加しているその統計上の一人になるのではなく、今この瞬間から行動をかえること」をまず講演の冒頭に伝えました。

## 細菌叢が健康を決める

午前の部では、免疫機能の低下や代謝不全などががんに関する11の特長を、主に予防の観点で解説しました。まず関心を集めたのが細菌叢の重要性についてです。Dr. トニーは、細菌叢が全身の健康に関与していることから、腸内環境だけでなく、口腔内や皮膚などの健康状態が大切であると訴えました。歯周病がある大腸がんの患者の事例研究で、「大腸の腫瘍の細菌と口腔内の細菌が同じであった」ことから、特に口腔ケアに重点をおき、簡単に作れる無添加マウスウォッシュのレシピなどを伝授しました。

ほかにも、スマートフォンなどの電磁波によっておこるエネルギー調和の乱れが、長期ストレス、睡眠障害、不安障害など

の不調を起こすこと、身体の解毒システムである尿や便、汗、呼吸に関わる臓器をいかに健康に保つかなど、がんだけではなくすべての病気の予防に通ずる健康法を多数紹介しました。

## 感情の癒しの重要性

Dr. トニーは、これまで診てきた多くのがん患者から、スピリチュアルやマインドが身体に影響を与えていると確信しています。そのために、自身のクリニックでは精神面のケアを治療の一環として実施しています。マインドと疾患の関係について「細菌や毒素などの物理的なものよりも、思想の毒が与える影響の方が大きい」と話すDr. トニーは、過去の傷やトラウマを手放すことによってがんが回復した患者の実例を紹介し、精神面の問題とがんの関係性を示しました。「最高水準の治療機器や技術があっても、患者さんの笑顔がなければ治らない」とのメッセージに、会場は感動に

包まれました。

## 全てのベースは栄養

午後の部では、Dr. トニーがすべての治療のベースと考える「栄養」をテーマに、がんの治療および予防で心掛けるべき食生活について語りました。がんのエサが糖質であることは有名な話です。では糖をゼロにすれば、がんは消えるのでしょうか?

この問いに対してDr. トニーは「がんは賢く、糖がなければタンパク質、その次は脂質をエサにする」と回答し、重要なことは「がんのエサになる種類の糖を摂らないこと」と続けました。糖には、左旋体(左回り)の自然糖と、右旋体(右まわり)の精製加工された人工糖の2種類があります。「がんは右旋体の人工糖のみをエサにする特性がある」ことからDr. トニーは「摂取する糖の8割は野菜から、2割は天然由来の糖で摂ること」を呼びかけました。

また、アメリカとヨーロッパの統計をもとに「がん患者の3人に1人は栄養不良になっている」ことにも言及し、「がん患者の死亡要因はがんそのものよりもがんに伴う栄養失調が多い」と続け、がんを予防する上で注意すべき食材と栄養の摂り方について詳しく解説しました。

## エネルギーレベルの治療

最後のブロックでは、Dr. トニー率いるホープ・フォー・キャンサーで行われている光や音、エネルギーを利用した治療について触れました。人間の細胞は内と外で電位差があり、病気はまずこの目に見えない光や音波、電磁力などエネルギーレベルの変化から始まると考えられています。Dr. トニーのクリニックでは、がん治療の一環として細胞を健全な電位差に回復させる世界に2台しかない最新の治療器を新たに導入しており、今後の治療にもさらなる期待が高まっています。

講演終了後の質疑応答の間では、国内で活躍する統合医療の医師らを中心にこれからの日本の医療の発展に向けられたメッセージが送られ、会場全体が一体となり幕を閉じました。今後日本でホープ・フォー・キャンサーの治療が受けられる日も、そう遠くないかもしれません。

## アーカイブ配信予定

今回の記事で取り上げた講演内容を「NPO法人がんコントロール協会」の会員サイトにてアーカイブ動画を配信いたします。この機会にぜひご入会ください。

NPO法人がんコントロール協会

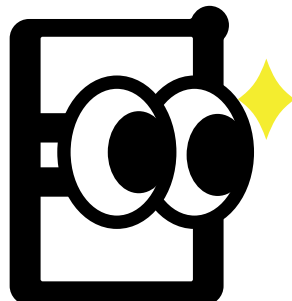
ご入会はこちら



年会費  
10,000円(税込)  
入会金  
0円(税込)



2024  
5



に

良

レシピ

今回は目に良い食材を使用したレシピをご紹介します。「最近視力が落ちてきた」「目の疲れが取れない」という方にオススメのレシピです。

### キャロットラペの肉巻き

材料(12本分)

- 人参 ..... 3本
- 天然ペプチドだし ..... 大さじ2
- パセリ ..... 少々
- 豚ロースしゃぶしゃぶ用 ..... 12枚
- 塩 ..... 少々
- 胡椒 ..... 少々
- ココナッツオイル ナチュレオ ..... 大さじ1

〈A〉

- レモン汁 ..... 1/4個
- MCTオイル カプレオ ..... 大さじ2
- 胡椒 ..... 少々

- 1 人参はスライサーで細切りにし、天然ペプチドだしを振りかけてザルに入れスチームオープンで5分かける。
- 2 ①をボウルに移して〈A〉を混ぜ、パセリのみじん切りを振る。
- 3 豚ロース肉に①の人参をきつめに巻いて塩胡椒をし、フライパンにナチュレオを入れ熱してさっと両面焼く。

目に良い食材はコレ

人参                      豚肉



### かぼちゃと人参のポタージュ

材料(2人分)

- かぼちゃ ..... 200g
- 人参 ..... 1/2本
- 玉ねぎ ..... 1/2個
- コンソメ ..... 1個~2個
- 水 ..... 300cc
- 塩胡椒 ..... 少々
- パセリ ..... 少々
- ココナッツオイル ナチュレオ ..... 大さじ1
- バター ..... 大さじ1

- 1 鍋でココナッツオイル ナチュレオを熱して玉ねぎの細切りをよく炒める。その後人参、かぼちゃの薄切りを入れ炒める。
- 2 ①に水とコンソメ、胡椒を入れ柔らかく煮る。
- 3 ②をミキサーにかけて、再度味を見て塩とバターで味を整えパセリを散らす。

目に良い食材はコレ

人参                      かぼちゃ



鹿児島県在住 Tさんの場合

ボタラボ体験談

## 私の栄養スイッチ

Testimonies

自分の子どもが、ある日突然命に関わる病気だと知らされたらどうするでしょうか？ 親なら、自分の命に代えてでも助けたいと思うでしょう。今回は、そんな事態に直面した母親のお話です。どんなふうに病気と向き合い、乗り越えたのでしょうか？

## 8歳の男児がケトン食で脳腫瘍にアプローチ

50代のTさんには、今年8歳になる男の子がいます。息子さんに、病気の兆候が現れたのは2023年6月のことでした。最初は発熱があり、かかりつけ医で

「新型コロナウイルスやインフルエンザではない」と言われ、安心したのも束の間、息子さんは「体が力が入らず、ぐったりした状態」が続きます。そうこうするうちに息子さんは起き上がれない状態になってしまいます。異変を感じたTさんは、大きな病院で診察を受けたところ、医師から突然「悪性の脳腫瘍でステージ4。すぐに手術が必要」と告げられるのです。

まさに青天の霹靂でした。病名を聞いても最初は状況が飲み込めませんでした。しかし一刻の猶予もあ

りません。息子さんは手術を受けるべく大学病院に入院。幸いにも手術は無事に成功し、術後に抗がん剤治療をすすめられます。Tさんは、一度は治療を承諾します。しかし抗がん剤の副作用で息子さんを苦しめたくなないと、放射線治療のみ受け入れず、息子さんもさることながら、母であるTさんや家族の心配はいかばかりだったでしょう。

そしてTさんは、さらに大きな決断をします。術後は、放射線治療のほかには「医学的にできることが少ない」ことから、懇意にしている友人の勧めもあって「食事と栄養による体質転換で、状態の改善をめざそう」と考えます。友人はボタニック・ラボラ



実際の写真 ～手術から回復まで～

トリーの会員で、正常分子栄養学に基づく食と栄養の重要性を熱心に訴えます。森山晃嗣先生を紹介され、これまでの経緯を含めて相談し、直接指導を受けることになりました。これになりません。これがTさんには、大きな励みになりました。

そしてまず、息子さんの食事を「ケトン食」に切り替えます。病院食をケトン食にするのは容易ではありません。炭水化物を減らし、野菜とタンパク質を中心にしたメニューに切り替えました。タンパク質が足りない場合は卵や納豆を買ってき

て補給し、デザートや果物は糖質が多い為一切食べさせませんでした。一方で、グリーンなどボタラボ製品による栄養補給も一緒に実践します。2ヶ月後、息子さんは元気に

ケトン食を続けました。幸い息子さんが通っていた学校もケトン食に協力をしてくれたので、手づくりの野菜スープや鶏肉、魚と卵、コナツツオイルを持参。加えてグリーン、キャロット、ビタミンB、EPA、DHA、ミネラル、プロテインを毎日補給し、表で食べたもの・食べた時間をチェックしてくれました。